

教育相談課のご案内

◆内線2651-2653

教育相談

幼児、小・中・
高生のお子さま
に關して、困つて
いることや心配なことについて

臨床心理士などが相談に応じて
います。いじめや不登校、学業
など学校に関する問題や、心身
の発達や親子関係の悩みなどに
ついて、カウンセリングやアド
セラピーなどの心理的援助を行
ながら、いっしょに考えて
います。

電話での相談も受け付けて
います。お気軽にご相談ください。

◆面接課 425-4972

教育相談

お子さまの学業
や進路について不
安や悩みをお持ち
の方のご相談に応じています。

市立小・中学校心身障害学級、
都立育・ろう・養護学校への入
学、または転学を希望している
児童・生徒の就学・転学相談を
行います。また、通級指導学級
(精神・ことば) の入級相談(内
線2654) を行っています。

言語相談

お子さまのこと
ばの発達に心配が
ある、発音に誤り
があるなど「ことば」に心配を
持つ方のために、言語訓練士に
よる言語訓練・言語相談の機会
を設けています。年間4-6回
を予定しています。日時につい
ては、広報西東京でお知らせし
ます。

主に児童・生徒
の心理・行動面に
ついて、学校から
の相談を受けてい
ます。また、校内研修会・事例
検討会へ参加し、校内の教育相



障害のある
児童の介助員を
登録受付中です。

南町スポーツ・
文化交流センター
「きらつと」

オープン

「スポーツ振興計画」
を策定しました

△活動内容:通常学級に在籍す

る、障害のある児童の介助

△活動場所:市立小学校

△活動時間:午前8時15分~兒
童の下校時刻(週30時間以内)

△料金:1,040円(交通費
の支給はありません)

△応募資格:教育行政に熱意と
理解のある、18歳以上の健康

な方(介助対象者の親族は除
きます。)

△応募方法:市販履歴書に記入
し、「〒202-8555

西東京市役所保谷庁舎 学務
課」へ郵送、または持参して
ください。

◆スポーツ振興課
(内線2714-2715)

5月1日、西東京市南町スポー
ツ・文化交流センター「きらつ
と」がオープンしました。大小
二つの体育室と武道場、文化活
動にも使える多目的ホール・会
議室を備えた、スポーツと文化
が共存する複合施設です。

この計画は、市のスポーツ分
野の各施策を包括的に体系化し、
より具体化したもので、計画の
期間は、今年度から平成25年度
までの8年間となっています。

また、計画の基本理念を「市
民とともに創る新しいスポーツ
ライフ」とし、その基本目標と
して次の3点をあげています。

①市民の視点・市民のスポーツ
ライフの充実

市民のスポーツ実施率、スポー
ツ活動頻度やスポーツ施設に
関する満足度の向上、市民の

健康への意識の向上など

②地域の視点・地域における市
民活動の活性化

スポーツ活動を通じての、ス
ポーツ以外の地域活動への積
極的な参加や、地元意識や愛
着の向上、地域における市民

活動の活性化など

③行政の視点・市民との協働に
よる市政の課題解決

スポーツ振興をまちづくりの
一環としてとらえ、市民との
協働により、医療費の削減な
ど、市政の課題解決を行政の
目標として掲げる。



「かがやき学級」がスタート

4月から芝久保小学校で

○通級指導学級には、それぞれ
の小学校に在籍したまま、決
まりました。

○通級指導学級(言語障害)、「かが
やき学級」がスタートしました。
これにより、市立小学校の通
級指導学級(言語障害)は、保
谷小学校の「えがお学級」と合
わせて2校になりました。

○事前に入級相談が必要です。
△問い合わせ先
入級相談をご希望の方は:
教育相談課(内線2654)
各学級の運営については:
学務課学務係(内線2621)

計画書は、市役所両庁舎の情
報公開コーナーで有償頒布(1
冊1,700円)します。また、
市ホームページにも掲載する予
定です。

(内線2714-2715)

学校紹介①

シリーズ

田無小学校
このコーナーでは、市立
学校の特長や教育活動など
を校長先生が紹介します。

田無小学校
本校は、今年で創立133年
の歴史ある学校です。心身障害
基礎資料として、市民のみなさま
が「いつでも、どこでも、いつ
でも」スポーツに取り組める
環境づくりを推進するため、西
東京市スポーツ振興計画を策定
しました。

特に、民生児童委員の方やフ
レンード会、近隣の幼稚園児、保
育園児(むかしとそび)を教えよ
う、武藏野大学の学生(環境
教育)、フレンド会(昔発見の
会)、田無国際交流サークル(國
際交流)とのかかわりなど、大
きな成果をあげました。

また、都の情報モラル実践モ
デル校の実績を生かし、1年生
から6年生、わかば学級まで、
あらゆる授業で一人一台のパソ
コンを子どもたちはみごとに使
っています。

コンを子どもたちはみごとに使
っています。併せて、専門機関
と連携して、コンテンツを活用
した歴史授業も今年行います。

古さと新しさがみごとに調和
して、子どもを生かす学校です。

足立 喬朗
田無小学校校長
この校長先生が紹介します。

この校長先生が紹介します。

田無第一中学校

本校は、校歌にうたわれてい
る「研鑽(けんさん) 和親(わしん)」の雅

言葉(りょうご)などの雅
樂体验(ひぢりき)を毎年継続して行ってお
り、このような貴重な体験を通して生徒は日本の伝統・文化を

く判断し、共に生きることを
目指して日々教育活動を展開し
ています。その中で、これから

国際社会で活躍する生徒たちに
とって、自國の伝統・文化を知
り、学ぶことの意義は大きいと
考え、本校では特色ある教育活

動の一環として、「日本の伝統・
文化理解教育」を推進していま
す。各教科の授業計画の中では、
関連した内容を取り入れて実施

していますが、特に音楽科では、
和樂器に親しむ取り組みとして、
筝(こと)の学習を年間通して
行っており、年々生徒のレベル
も向上しています。総合的な学

習の時間の中では、地域で雅樂
に取り組んでいる鈴木治夫さん



田無第一中学校
大野 雅生

